

名古屋市工業研究所 所内見学会 「工研オープンラボ」

主 催 名古屋市工業研究所

後 援 公益財団法人 名古屋産業振興公社

工業研究所では、平成 29 年 7 月 1 日に設立 80 周年を迎えました。そこで、工業研究所をより一層知っていただき、活用していただくために、所内見学会「工研オープンラボ」を開催させていただきます。ラボツアーでは少人数のグループにてご希望のコースをご見学になれます。

ご多用中とは存じますが、この機会に是非ご参加下さいますようお願い申し上げます。

日 時：平成 29 年 12 月 15 日(金) 13:00~17:00

場 所：名古屋市工業研究所 管理棟 3 F 第 1 会議室

(名古屋市熱田区六番三丁目 4-41)

(交通) 地下鉄名港線・市バス・

三重交通バスともに「六番町」下車

内 容：

13:30~13:35 開会挨拶

13:35~13:50 工業研究所および

〈IoT 活用拠点〉3D ものづくり支援センターの紹介

名古屋市工業研究所 主幹 山岡 充昌

13:50~15:00 ラボツアー (1 回目)

15:00~15:20 休憩

15:20~16:30 ラボツアー (2 回目)

13:00~17:00 研究紹介パネルの展示

参加費：無料

定 員：各回 54 名 (10 月 10 日(火)より先着順で受付)



ラボツアーの概要と申込方法は裏面をご覧ください。

12 月 12 日(火)までに参加申込をお願いいたします。

～ NMIRI 技術ニュース (メールマガジン) のご案内 ～

名古屋市工業研究所では、講演会情報、技術支援事業、イベント、研修案内等を掲載した「NMIRI 技術ニュース」を配信しています。配信をご希望の方は、企業・団体名および申込者氏名を明記の上、メールを kikaku@nmiri.city.nagoya.jp (件名：メールマガジン配信希望)まで送りください。(裏面の参加申込書でもお申し込みいただけます。)

お問い合わせ先：名古屋市工業研究所 支援総括室 TEL 052-654-9900

名古屋市工業研究所 支援総括室 行

必要事項をご記入いただき、メールまたはFAXにて送信してください。

メールアドレス : seminar@nmiri.city.nagoya.jp
(メールの件名は オープンラボ として下さい。)

FAX 送り先番号 : 052-654-6788

参加申込書

工研オープンラボ (12月15日)

企業・団体名				
部署・役職名				
参加者氏名				
電話番号				
希望するラボツアー (各コースの概要は下記を参照下さい。)	ラボツアー	Aコース	Bコース	Cコース
	1回目 (13:50~15:00)			
	2回目 (15:20~16:30)			
FAX番号				
メールアドレス				
メールマガジン登録	<input type="checkbox"/> 希望する		<input type="checkbox"/> 希望しない	

※参加証は発行いたしません。当所よりお断りの連絡がない限りご参加ください。
ご記入いただきました個人情報、適切に保管し、主催者の事業運営のためにのみ使用いたします。

ラボツアー 概要

Aコース: X線を利用した材料分析コース

X線は元素分析や結晶構造解析等に利用されています。試料を少量・非破壊で測定が可能のため、新材料の開発、製品検査、未知試料の同定等に広く活用されています。X線を利用した分析装置は分析目的や試料状態などを考慮して適切に使い分ける必要があります。本コースでは分析機能付き走査型電子顕微鏡(SEM-EDX)、蛍光 X線分析装置(XRF)、X線光電子分光装置(XPS)、X線回折装置(XRD)をご見学いただくとともに、各装置の利用方法と特性についてご説明いたします。

Bコース: 製品検査コース

製品検査は信頼性を高めるため、また安全に長期間の使用を可能にするために重要です。目視では確認できないキズや欠陥が破壊の原因となり、製品不良さらには事故につながる可能性があります。これらを防ぐために、将来的に破壊をもたらす欠陥等を検出する手法についてご紹介します。

本コースでは、製品内部の欠陥等を検査する超音波探傷器および X線 CT 装置、導電/非導電性材料や揮発成分を含む材料の表面状態を観察できる環境制御型電子顕微鏡、製品の表面形状の測定をする非接触三次元デジタイザをご見学いただけます。

Cコース: 製品設計シミュレーションコース

製品設計においてシミュレーションが重要視されています。本コースでは”熱”と”構造”の 2 テーマに関するシミュレーションを取り上げました。熱解析では電子機器の熱対策に触れ、熱設計の場面で有効に使える熱解析をご紹介します。また、サーモグラフィーによる基板表面の温度測定をご覧いただけます。構造解析は製品に必要となる剛性や強度等の計算方法について解析事例をもとに説明します。また、物性測定の一例として高速引張試験をご覧いただけます。本コースでは熱及び構造シミュレーション、サーモグラフィー、高速引張試験機の機器をご見学いただけます。

(本コースのみ当日エレベーターが利用できないため、階段での移動となります。ご了承ください。)